



2019年3月29日(金)

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
NPO法人粋なまちづくり倶楽部

神楽坂まち舞台・大江戸めぐり 2019

プログラム詳細決定！

まち全体を舞台に日本の様々な伝統芸能を楽しむフェスティバル！

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京とNPO法人粋なまちづくり倶楽部は、伝統と先端が融合する神楽坂でまち全体を舞台にした「神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2019」を2019年5月11日(土)〈宵祭〉、12日(日)〈本祭〉に開催します。

この「神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2019」は、幅広い世代や海外からの観光客を含む多くの方々に、江戸の趣きが残る神楽坂の魅力と合わせて、日本を代表する様々な伝統芸能を、気軽に見て、聞いて、触れていただけるフェスティバルです。7回目となる今年は、開催が11月から、まち歩きを楽しみやすい5月へと変わりました。そして今年も、地元の方々がボランティアや「まち舞台コンシェルジュ」として参加し、共に作り上げる「まちと人が一体になった祭り」として実施いたします。

神楽坂は、江戸・東京の文化とパリの洗練された雰囲気調和・融合するまちとして今、人気を集めています。若手からベテランまで、神楽坂に縁(ゆかり)があり、第一線で活躍する様々なジャンルの伝統芸能のアーティストが集結。路地を歩きながら演奏する「新内流し」や芸者さんとの「お座敷遊び」など神楽坂ならではのプログラムをはじめ、赤城神社の境内で行う新プログラム「神遊びライブ」など、多彩な伝統芸能を、人々の集まる路上や神社仏閣、公園などでご観覧いただけます。

情緒ある街並みの中に伝統文化が息づく街・神楽坂で、日本の伝統芸能を楽しむことができる祝祭の2日間。伝統芸能の普及とさらなる街の振興を目的として、今や全国から注目を集めるイベントとなっています。

【開催概要】 ※詳細は次頁以降をご参照ください。

タイトル：「神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2019」

開催日時：宵祭 2019年5月11日(土) 15:00～

本祭 2019年5月12日(日) 11:30～

*両日共に雨天決行・荒天中止

実施会場：神楽坂エリア(毘沙門天善國寺、赤城神社、東京神楽坂組合・見番、神楽坂通りエリア内路上、歴史的な名所旧跡、THE GLEE、縁香園、神楽坂モノガタリ(ほか))

参加形式：無料(「覗いてみようお座敷遊び」のみ有料・要事前申込)

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
NPO法人粋なまちづくり倶楽部

助成・協力：東京都

後援：新宿区/一般社団法人 新宿観光振興協会

協力：東京神楽坂組合/毘沙門天善國寺/赤城神社/株式会社粋まち/神楽坂通り商店会/
神楽坂商店街振興組合/江戸東京ガイドの会/光照寺/圓福寺/東京都消費生活総合センター/
若宮町自治会/東京理科大学/法政大学/あずさ監査法人/第一勧業信用組合 神楽坂支店/
熊谷組/ニューハウス/日本ヘルマンハーブ神楽坂店/
スターバックス コーヒー 神楽坂下店/ちかけん/マインド

制作：有限会社古典空間 運営：認定NPO法人アークシップ 広報：有限会社サザンカンパニー

お問合せ：神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2019事務局(古典空間内) 担当：小野木、佐藤

TEL：03-5478-8265(平日10～18時) FAX：03-5478-8267 メール：contact@kaguramachi.jp

公式ウェブサイト：https://kaguramachi.jp/

■報道関係の方のお問合せ先

神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2019事務局(古典空間内) 担当：小野木、深澤

TEL：03-5478-8255 FAX：03-5478-8267 E-Mail：pr@kaguramachi.jp

【実施内容】 ++++++

-INDEX-

1.宵祭-Eve-

- 店めぐり・伝統芸能ライブ
- **NEW** 神楽坂楽座～講釈場
- 神楽坂路上界限「新内流し」*本祭でも実施
- 神楽坂路上界限「城端^{じょうはなひきやまつり}曳山祭<庵^{いおりうた}唄>」*本祭でも実施

2.本祭-Main Festival-

- 神楽坂楽座～講釈場
- 神楽坂芸能めぐり 街角ライブ
- **NEW** 神遊びライブ
- 覗いてみようお座敷遊び
- 神楽坂タイムスリップ（スタンプラリー／歴史ガイド／こども広場）
- 赤城神社 夕暮れライブ

1.宵祭-Eve-

多くの味わい深い文化を生み出した「神楽坂の夜」も神楽坂の魅力の一つです。風情の増す時間帯に、石畳や黒塀のある路地をそぞろ歩き、洒落たお店で味わう伝統芸能……。今年は前夜祭から名称を改めた「宵祭」では、夜ゆえに味わえる神楽坂の魅力を楽しんでいただけます。

店めぐり・伝統芸能ライブ

神楽坂ゆかりの伝統芸能演者が、今話題のレストランやカフェ、ライブハウスで行うミニライブ。俗曲や箏曲の他に、「神楽坂路上界限～新内流し」でお馴染みの新内節を、今回はステージでもじっくりとお聴きいただけます。また江戸の端唄と、それが富山・城端に伝わり唄い継がれている庵唄、その聴き比べもお楽しみください。

■日 時■ 2019年5月11日（土） *雨天決行

■場所・時間・出演■

縁香園	16:00～16:40	桧山うめ吉（俗曲）
THE GLEE	17:00～17:40	鶴賀伊勢吉（新内節）
	19:00～19:40	本條満留ひで×本條秀邦（端唄）
ゲスト		宝槌会（城端 ^{じょうはなひきやまつり} 曳山祭<庵 ^{いおりうた} 唄>）
神楽坂モノガタリ	19:00～19:40	吉永真奈（箏曲）



■参加料■ 鑑賞は無料（飲食代は別途） *開演1時間前より各会場で入場整理券を配布します。

NEW 神楽坂楽座～講釈場

その昔、人々が集う神社仏閣の境内などに設けられた講釈場からは、様々な情報が発信されました。毘沙門天善國寺境内に再現したその講釈場を、今年は宵祭でも楽しめます。最初は落語で大いに笑っていただき、夕暮れ近くにはじっくりと講談をお聴きください。

■日 時■ 2019年5月11日（土）

■場所・時間・出演■

15:00頃～15:10頃	オープニング
15:10頃～15:40頃	シ rilル・コピー二（落語パフォーマンス）
18:00頃～18:30頃	神田織音 ^{おりね} （講談）

神楽坂路上界限～新内流し（両日実施）

石畳の路地に迷い込むと聞こえてくる三味線の音色。偶然のように出逢う「流しの芸能」。地元神楽坂在住で新内節の人間国宝・鶴賀若狭掾一門による、粋な姿の「新内流し」が神楽坂の路地や横丁を流します。はかなくも物悲しい調子に、静かに耳を傾けてみてください。

- 日 時■ 2019年5月11日（土）16:30頃～17:30頃/18:30頃～19:30頃
12日（日）12:30頃～13:00頃/14:00頃～14:30頃/15:30頃～16:00頃

- 場 所■ 神楽坂界限
(寺内公園からスタート)

- 参加料■ 無料

- 出 演■ つるがわかさのじょう
鶴賀若狭掾一門
(鶴賀伊勢吉 他)



神楽坂路上界限～城端曳山祭〈庵唄〉（両日実施）

富山県南砺市の城端に伝わった江戸端唄は、その地の城端曳山祭で「庵唄」として300年もの長い間唄い継がれ、独特の文化として生き残りました。その「庵唄」が江戸へ里帰り。城端の若連中が曳山祭の雰囲気そのままに、神楽坂の裏路地を三味線と笛、唄声と共に練り歩きます。

- 日 時■ 2019年5月11日（土）15:00頃～16:00頃/17:30頃～18:30頃
12日（日）12:00頃～12:40頃/13:10頃～13:50頃/14:20頃～15:00頃

- 場 所■ 神楽坂界限
(毘沙門天善國寺からスタート)

- 参加料■ 無料

- 出 演■ ほうてつかい
宝槌会
(じょうはなひきやまつり いおりのた
城端曳山祭〈庵唄〉)



ほんまつり

2. 本祭 - Main Festival -

歩行者天国となる神楽坂通りは夜とは違った顔を見せます。往来は若者や家族連れ、外国人などで賑わいます。神楽坂の2大ランドマークとなる毘沙門天善國寺と赤城神社をはじめ、神楽坂通りや石畳の路地、公園まで、神楽坂のまち全体が伝統芸能の舞台へと顔を変えます。今年是新企画として赤城神社で「神遊びライブ」を行います。

神楽坂楽座～講釈場

本祭では若手講釈師による講談のほか、琵琶語り、浄瑠璃(義太夫節)、浪曲など伝統語り芸を、披露いたします。初めて触れる皆様にも、わかりやすい言葉、演目でお楽しみいただけます。

- 日 時■ 2019年5月12日(日) 12:00~16:40頃
- 場 所■ 毘沙門天善國寺境内特設ステージ
- 参加料■ 無料
- 出 演■ 竹本京之助 × 鶴澤賀寿^{つるざわかず}(義太夫節)、藤高理恵子(筑前琵琶)
玉川奈々福 × 沢村豊子^{さんや}(浪曲)、田辺銀冶(講談)
- 司会進行■ 石井要吉(助六店主)



神楽坂芸能めぐり 街角ライブ

神楽坂のメインストリートに2か所のライブスポットが出現。神楽坂通りのどこにいても出逢える、伝統芸能の多彩なパフォーマンス。息をのむ技巧あり、聴きほれる名演奏あり。伝統とモダンが融合したユニットから、江戸の粋を今に伝える実演家まで様々なジャンルが登場。世代を超えてお楽しみいただけます。

- 日 時■ 2019年5月12日(日) 12:00~17:10頃
- 場 所■ 神楽坂界限
(神楽坂上交差点前、パークリュクス神楽坂前ポケットパークの2か所)
- 参加料■ 無料
- 出 演■ 尺八カルテットGMQ(尺八)、弓連者(胡弓)、
雅楽トリオ ゆらら(雅楽)、和田奈月(手妻)、
セ三味ストリート(津軽三味線パフォーマンス)、こと × 多田彩子(笛 × 二十五弦箏)、
小山豊 × 小湊昭尚 × 大多和正樹(津軽三味線 × 尺八 × 和太鼓)、丸一仙翁社中(江戸太神楽)



NEW 神遊びライブ

今年から始まる新企画! 「語り芸」の毘沙門天と、「音楽」の赤城神社。赤城神社社殿を背景に仰ぐ階段をステージに、江戸太神楽や尺八、箏、胡弓、ギターなど、神も浮かれて踊りだすような楽しい伝統芸能、心安らぐ音楽をご堪能ください。

- 日 時■ 2019年5月12日(日) 12:00~15:40頃
- 場 所■ 赤城神社境内
- 参加料■ 無料
- 出 演■ 丸一仙翁社中(江戸太神楽)、遠音(尺八 × 箏 × ギター)、
木立(胡弓 × キーボード・シンセサイザー)

覗いてみようお座敷遊び

日本固有のおもてなしの一つに、宴席における芸者衆とのお座敷遊びがあります。普段は立ち入ることができない芸者衆のお稽古場「見番（けんばん）」を会場に、神楽坂芸者衆による唄や三味線、踊りを鑑賞した後、お客さまと一緒に“お座敷ゲーム”を体験できます。英語による通訳もあり、外国の方にもわかりやすく、気軽に楽しんでいただけます。

- 日 時■ 2019年5月12日(日)
 第1部 13:00~14:00
 第2部 14:30~15:30の2回公演
 (内容は各部同じ)

■場 所■ 東京神楽坂組合・見番

■場 所■ 東京神楽坂組合・見番

■出 演■ 神楽坂芸者衆

立方：英子、福子、史帆

地方：眞由美（唄）、夏栄・櫻子（三味線）、由みゑ（鳴物）

■参加料■ チケット 2,500円

* 要事前申込（各回 40名）

* 当日英語パンフレット配布、英語逐次通訳あり



CHECK

チケット取扱

Confetti（カンフェティ） <http://www.confetti-web.com/>

4月1日（月）10:00～販売開始

TEL:0120-240-540（フリーダイヤル、平日10:00～18:00 *オペレーター対応）

赤城神社 夕暮れライブ

江戸時代からの名所であり、夕景の美しいスポットとしても知られる赤城神社。そのモダンで美しい神楽殿のライブは、手妻で賑々しく始まり、今年は尺八とフルートのハイブリッド楽器・オークラウロの演奏（協力：公益財団法人大倉文化財団・大倉集古館）や、女流の長唄三味線と邦楽囃子による華やかで艶やか、しかも気迫溢れる演奏をおとどけします。さまざまな趣向を凝らしたフィナーレでは、出演者・来場者・スタッフが一体となり、祭りを締めくくります。

- 日 時■ 2019年5月12日（日）17:30～
- 場 所■ 赤城神社 神楽殿
- 参加料■ 無料
- 出 演■ 和田奈月（手妻）、
 小湊昭尚×松下尚暉×元永拓（オークラウロ）
 鳥羽屋里夕連中×望月晴美連中（長唄三味線×邦楽囃子）
- 司会進行■ シリル・コピーニ



神楽坂タイムスリップ（スタンプラリー／歴史ガイド／こども広場）

神楽坂いにしえの名所旧跡 7 か所をめぐるスタンプラリー、そして 8 か所の歴史スポットでは神楽坂をよく知る「歴史ガイド」によるワンポイント案内があります。他にも白銀公園では、昔ながらの紙芝居や江戸系あやつり人形などの大道芸を実演。ベーゴマやけん玉などの伝承遊びコーナーもあり、お子様は言うまでもなく、大人も懐かしく楽しむことができます。スタンプラリーでスタンプを 7 つすべて集めた参加者には、記念品として数量限定のオリジナル手拭をプレゼント。

■日 時■ 2019年5月12日（日）11:30～16:00（記念品交換は16:30まで *数量限定）

■場 所■ **スタンプラリー** 毘沙門天善國寺、光照寺、圓福寺、白銀公園、寺内公園、軽子坂上、若宮公園

*各ポイントでスタンプシート付きラリーマップを配付

*英語版マップ及び各ポイントでの英語通訳対応あり

歴史ガイド 上記のほか、芸者新道

こども広場 白銀公園、寺内公園（大道芸のみ）

■参加料■ 無料

■出 演■ 渋谷画劇団（紙芝居）

上條充（江戸系あやつり人形）

協力：江戸東京ガイドの会

東京おもちゃ美術館おもちゃ学芸員 山田修靖

*諸事情により実施時刻、時間帯、内容を変更、または中止する場合があります。

*雨天時の開催場所等はウェブサイト及び当日会場でご案内いたします。

【神楽坂の魅力】

再開発から変貌した東京において、神楽坂は江戸時代の地割りがほぼそのままに、石畳の路地などが残されてきました。神楽坂花柳界の発展とともに、芸事を重んじる歌舞音曲の師匠たちは神楽坂周辺に稽古場をもち、伝統芸能を継承してきました。また戦前にはいくつもの演芸場があり、話芸なども盛んに行われていました。戦後、神楽坂周辺には「パリの佇まいを彷彿させる」としてフランス人をはじめとした外国人が多く住み、従来の日本文化と調和・融合し独特の風情を生み出しています。昨今ではNPO法人粋なまちづくり倶楽部を中心として、若い世代のボランティア（集団）や商店会、企業、各店舗などと共に、伝統芸能をはじめとした大小さまざまな文化イベントを数多く実施しています。多くの文化資産に溢れた神楽坂は、現在では国内外からも大きく注目を集める街となっています。

【まち舞台コンシェルジュ】

このイベントは、地元・神楽坂の方々、海外留学生、企業の皆さまなど、延べ 100 名以上のボランティアによる、外国語対応、お客様ご案内等の協力によって支えられています。また、伝統芸能の事を学び神楽坂を良く知るボランティア有志によって構成された「まち舞台コンシェルジュ」たちが、イベント当日に各スポットで、伝統芸能のジャンル、演奏者、各種楽器、そして神楽坂について詳しく丁寧にのご案内いたします。

■取材に関するお問合せ先

神楽坂まち舞台・大江戸めぐり 2019 事務局（古典空間内） 担当：小野木、深澤
TEL：03-5478-8255 FAX：03-5478-8267 E-Mail：pr@kaguramachi.jp